

TOSHIMA CROSS TABLE

コミュニティのその後

— 3.11からの学びと実践 —

2025.3.22 sat
17:00~19:00

3.11があった日、登壇者2人は大学生だった。その後、互いに別の分野から、公共・コミュニティについて考える機会を得てきた。

伊藤 幹は、東北大工学部で建築を学んでいた際に被災。2012年の卒業設計日本一決定戦で作品が上位に入賞。大学院でも研究を続け、建築家として。

國井紀彰は、慶應大法学部で政治学を学びながら、子どもの問題について取り組む。立教大大学院に進学してからは、主に子ども食堂の活動を通じて。

3.11からの2人の歩みを踏まえつつ、コミュニティのあり方について、改めて考えていくイベントです。

1部「3.11からの学びと実践」

伊藤 幹 (建築家) × 國井 紀彰 (IKEBUKURO TABLE)

2部「コミュニティを位置づける」

ワークショップ形式でコミュニティについて考えていきます。

会場：HIRAKU 01 IKEBUKURO
SOCIAL DESIGN LIBRARY

豊島区上池袋2-2-15 池袋駅東口から徒歩10分

参加費：1,000円 学生：500円

(コーヒーor紅茶付き)

お申し込みは Peatix から →



伊藤 幹 一級建築士
2012 東北大学工学部建築・社会環境工学科卒業
2013-14 La Cambre Horta交換留学
2015 東北大学大学院工学研究科修了 都市・建築学専攻 五十嵐太郎研究室
2015 - 現在 aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所 所属
2022 - 現在 幹花建築社主宰

國井 紀彰
2013 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
2015 - 現在 子ども食堂「IKEBUKURO TABLE」主宰
2017 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了 中村陽一ゼミ
2018 - 現在 会社員
2023 - 現在 市民の学びの場を作る「TOSHIMA CROSS TABLE」主宰

主催：TOSHIMA CROSS TABLE toshima.crosstable@gmail.com